

## 目標 1. 大規模自然災害が発生したときでも人命の保護が最大限図られる

### 1-5) 学校施設の倒壊・災害の発生

#### (学校施設の機能強化)

○学校施設は、児童生徒の学習・生活の場であるとともに、非常災害時には地域住民の避難所としての役割も果たすことから、その安全性の確保と防災機能の強化は極めて重要である。学校施設ごとに避難所として求めるべき役割・備えるべき機能・施設を明確化し、優先順位をつけて整備する必要がある。

#### (学校施設の耐震化)

○学校施設は大規模災害時に重要な役割を果たす避難所に利用されることから、耐震化を維持する必要がある。

#### (学校施設の老朽化対策)

○校舎等の老朽化が進み、修繕を必要とする箇所が多岐にわたり、増えている。学校施設における児童生徒の安全確保、建築物の被害軽減を図るため、計画的な修繕、改修による長寿命化を図り、安全性の高い学校施設を確保していく必要がある。

※文部科学省 学校施設環境改善交付金等を活用

#### (小学校・中学校・義務教育学校における防災教育)

○児童・生徒及び教職員に対する防災教育や地震・火災を想定して地域や防災機関と連携した避難訓練、保護者への引き渡し訓練を実施しているが、引き続き継続する必要がある。

#### 【重要業績指標】

#### ② 住宅・都市・住環境

桜川市立小学校・中学校・義務教育学校の耐震化率：100%（H27）【学校教育課】

桜川市立小学校・中学校・義務教育学校における地震・火災を想定した避難訓練の実施率：100%（H27）【学校教育課】